

## 平成 29 年度事業報告

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

### 1. 平成 29 年度助成事業について

#### (1) 研究助成金の交付

平成 29 年 3 月 7 日の選考委員会の答申を受け、3 月 15 日開催の平成 28 年度第 2 回定時理事会で承認された土木分野 11 件、建築分野 11 件の計 22 件について、助成金計 2,190 万円を 4 月及び 10 月の 2 期に分けて交付した。

	助成者名	所属	研究課題	助成金 (万円)
土 木 分 野	菊本 統	横浜国立大学	一回の三軸試験による岩石の異方剛性の測定法の開発	100
	大嶋 俊一	金沢工業大学	硫酸劣化に対するけい酸塩系表面含浸材の抑制効果に関する研究	100
	榎 涼太	名古屋大学	河床環境のオンライン・リアルタイム計測	100
	金田一 智規	広島大学	膜分離技術とヒドロキシルアミン添加制御による一槽型アナモックス処理法の開発	100
	岡本 隆明	京都大学	集中豪雨時の流木による橋梁閉塞と河岸浸食対策に関する実験的研究	100
	石川 敬祐	東京電機大学	巨大地震時の液状化に伴う直接基礎構造物の変形挙動に及ぼす表層非液状化地盤の影響	100
	田代 喬	名古屋大学	IoT(Internet of Things)を活用した都市浸水過程の監視と内水氾濫解析の精緻化による減災シナリオの構築	100
	新 大軌	島根大学	ジオポリマーの劣化メカニズムの解明と耐久性向上のための材料設計	100
	染谷 望	港湾空港技術研究所	かぶり電気化学的測定結果に与える影響の電気化学インピーダンス法を用いた評価	100
	伊藤 通浩	琉球大学	河川および下水処理水を通じたサンゴ礁への陸域微生物の流入とサンゴへの感染の実態評価	100
	木村 善一郎	呉工業高等専門学校	尿素分解・嫌氣的アンモニア酸化反応共役で拓く「高速」「高強度」微生物学的地盤固化	100
	土木分野計			1,100

建 築 分 野	助成者名	所属	研究課題	助成金 (万円)
	ガヴァンスキ 江梨	大阪市立大学	強風による建物疲労被害低減に向けた設計法と脆弱性モデルの提案	100
	大内田 史郎	工学院大学	旧帝国ホテルの解体から移築に関する研究	100
	千歩 修	北海道大学	限界飽水度法を用いたコンクリートの耐凍害性評価試験方法の開発	100
	白井 和貴	北海道大学	制振構造用パッシブ負剛性デバイスの創出	100
	木方 十根	鹿児島大学	山口半六が受けた建築教育と近代日本の産業基盤形成に果たしたその役割に関する研究	90
	金田一 清香	広島大学	地域の未利用熱資源を活用した空調用熱源システムの年間性能予測手法の構築	100
	宮本 慎宏	香川大学	伝統的木造建築物の柱貫接合部の構造性能評価に関する研究	100
	友寄 篤	東京大学	シラスを比重選別したガラス質シリカ粉碎物のポゾラン反応に関する研究	100
	飯塚 悟	名古屋大学	格子ボルツマン法と人工的な流入変動風を組み合わせた新しい建築工学LESモデルの開発	100
	西脇 智哉	東北大学	複数微細ひび割れ発生下における超高強度・高靱性セメント複合材料の耐久性・修復性評価	100
	池上 重康	北海道大学	明治年間発行の西洋建築雛形書にみる洋風意匠の受容過程に関する研究ー近世・近代木割書と舶載パターンブックとの比較を通してー	100
	建築分野計			1,090
研究助成総計				2,190

## (2) 国際会議助成金の交付

平成 29 年 3 月 7 日の選考委員会の答申を受け、3 月 15 日開催の平成 28 年度第 2 回定時理事会で承認された 3 件の国際会議について、助成金 300 万円を 6 月に交付した。

土木分野 第9回日中シールド技術交流会

責任者 長岡技術科学大学工学部環境・建設系 教授 杉本 光隆

期間 平成29年8月26日 ～ 平成29年8月27日 (2日間)

建築分野 第12回日中建築構造技術交流会

責任者 (一社)日本建築構造技術者協会会長 森高 英夫

期間 平成29年9月16日 ～ 平成29年9月17日 (2日間)

建築分野 風関連災害国際ワークショップ

責任者 東北大学大学院工学研究科 都市・建築学専攻教授植松 康

期間 平成30年3月11日 ～ 平成30年3月14日 (4日間)

### (3) 特別研究テーマの選考

平成29年6月2日(金)開催の平成29年度第1回定時理事会で、平成29年度から助成事業の拡大を目的として、新たに特別テーマを設け、募集・選考することを決議し、直ちに募集開始した。

平成29年度分は13グループから応募があり、平成29年9月7日に、第1回理事会で選任された理事により選考が行われ、6グループを選考し、総額560万円の助成を行った。また、平成30年3月20日(火)に品川GOOS内ラントマークスクエア東京で、6グループから研究成果の報告を受けた。

## 2. 平成29年度顕彰事業について

### (1) 前田工学賞の授与

平成29年3月7日の選考委員会の答申を受け、3月15日開催の平成28年度第2回定時理事会で承認された下記の者に対し平成29年6月2日(金)東京都港区浜松町世界貿易センタービル内東京會館において授賞式を行い、それぞれ賞状及び賞金(100万円)を贈呈した。

土木分野 阿久井 耕平 富山大学大学院理工学研究部

近代化黎明期の水辺市街地における橋梁デザインの展開とその景観的意義

建築分野 樋渡 彩 東京藝術大学教育研究助手

水都ヴェネツィアと周辺地域の空間形成史に関する研究

### (2) 山田一字賞の授与

平成29年3月7日の選考委員会の答申を受け、3月15日開催の平成28年度第2回定時理事会で承認された下記の者に対し平成29年6月2日(金)東京都港区浜松町世界貿易センタービル内東京會館において授賞式を行い、それぞれ賞状及び賞金(50万円)を贈呈した。

土木分野 伴野 雅之 港湾空港技術研究所沿岸環境研究領域  
様々な時間スケールにおける汀線の動的応答特性と将来の汀線変動予測

土木分野 Attachaiyawuth, Anuwat 高知工科大学システム工学群  
空気泡によるフレッシュコンクリートの自己充填性向上

建築分野 廣井 慧 名古屋大学未来社会創造機構  
豪雨・浸水の時空間分布を推定する指標化モデルに関する研究

建築分野 岡村 健太郎 東京大学生産技術研究所  
三陸津波災害の復興手法と集落構造の変遷に関する研究  
一吉里吉里集落の復興に見る変曲点としての昭和三陸津波一

建築分野 堀川 真之 日本大学工学部建築学科  
時間依存性を考慮した高強度鉄筋コンクリート柱の弾塑性挙動に関する  
解析的研究

### 3. 平成30年度事業に対する広報・募集及び選考活動について

当法人の助成金の交付時期は、研究者の年度計画達成を援助するため、新年度期首に交付している。そのため、標題の諸活動は先行的に平成29年度中に実施している。

#### (1) 広報活動

- ①土木学会誌、建築雑誌に募集要項を掲載した。
- ②インターネットホームページに募集要項、応募用紙を掲載した。

#### (2) 募集活動

- ①全国の土木、建築系の学科のある高等専門学校、大学、大学院に募集依頼と募集要領を送付した。

#### (3) 選考

##### ①研究助成について

土木分野 48 件、建築分野 30 件の応募があった。応募課題に対し、1 件当たり 3 名の選考委員で、定められた評価要素につき第一次審査を行い、平成 29 年 12 月 11 日（月）開催の第 1 回選考委員会において、土木分野 17 件、建築分野 15 件を第二次審査に付すこととした。

第二次審査は、全選考委員による審査結果に基づいて、平成 30 年 3 月 7 日（水）開催の第 2 回選考委員会において、土木 14 件、建築 12 件の候補者を選定し、青山選考委員長から岡村理事長に報告した。但し、土木分野の 1 件については、予算に余裕がある場合に助成を要請するという条件付きであった。

理事長はこれを、3 月 20 日（火）開催の平成 29 年度第 2 回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で選考委員会選定の候補の助成を決定し、その

後申請者に通知した。

なお、3月末に土木分野助成研究者1名より、助成辞退の連絡があったため、助成件数は合わせて25件となった。

#### ②国際会議助成について

土木系分野3件の申請があった。第1回選考委員会において、申請された3件全てを詳細に審査することとし、その結果を基に第2回選考委員会において選考した。選考の結果、土木分野2件を国際会議助成候補とすることとなり、理事長に報告した。

理事長はこれを、3月20日（火）開催の平成29年度第2回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で助成を決定し、その後国際会議責任者に通知した。

#### ③前田工学賞・山田一字賞顕彰について

応募状況は、土木分野9件、建築分野7件の計16件であった。

ア、応募にあたって提出された学位論文の内容要旨及び論文業績について出席した選考委員全員によって、定められた評価要素を勘案し、一次審査を行った。平成29年12月11日（月）開催の第1回選考委員会において、土木分野で5件、建築分野で5件の計10件を2次審査に付すこととした。

イ、2次審査は、学位論文本文の提出を受け、これを委員全員で審査した。その結果を平成30年3月7日（水）開催の第2回選考委員会において審議し、前田工学賞として、建築分野で1名、山田一字賞について、土木分野、建築分野でそれぞれ2名の合計5名の候補者を選定し、青山選考委員長より岡村理事長に報告した。

ウ、理事長はこれを、3月20日（火）開催の平成29年度第2回定時理事会に議案として上程し、出席理事全員一致で顕彰を決定し、その後申請者に通知した。

平成30年度前田工学賞受賞者

建築分野：川島 範久 氏 以上1名

平成30年度山田一字賞受賞者

土木分野：杉山 友理 氏、近広 雄希 氏

建築分野：藤下 和浩 氏、石樽 督和 氏 以上4名

#### ④特別研究テーマの選考について

8件の応募があり、平成30年3月20日（火）に、理事会で選任された理事により選考が行われ、5グループを選考した。その結果は、同日開催された平成29年度第2回定時理事会で報告された。